

神山神社だより

令和2年3月
25号

■はじめに

令和二年も始まって早2ヶ月過ぎようとしています。一月から今日まで天候がよいのかどうかわかりませんが二月中ごろに少し雪が降っただけのおかしな年の始まりとなりました。

又、中国に始まったコロナウイルスの感染症が流行して多くの方が被害に遭われ其の対応に世界中が右往左往しており、早く収束に向かうことを願います。

毎年の事ですが一年間の良い事、悪いことを振り返り、今年こそは良い年となりますようにと願う訳ですが何かしらの厄災が起こると、必然のように思い悪く捉える傾向があります。事の成り行きによつては悪く捉えるのでなくよき事の方で捕らえる事も必要です。酷い目にあつたと思うより、これだけですんでよかつたと思えるほうがどれだけ気がやすまるか判りません。

一年過ぎるのは早いけれどまだ十ヵ月もあります、出来るだけ気持ちにゆとり思つて過ごしていければと思います。



■お祭り（一月から四月）

一月一日元旦祭

※ 新しい年の新たな気持ちを神前で誓ひ区長始めとする町内会長役員の新年会

一月二日還曆報告祭

昭和三十五年四月～翌年三月生

※ 干支が一巡し誕生年の干支に還つた祝ひ

一月二日厄年祈願祭

昭和五十四年四月～翌年三月生

※ 本年は四十二歳のみ依頼あり厄災が多く降りかかるとされる年齢である為、御祓いをする

一月二十六日交通安全祈願祭

※ この一年間交通事故が起らないよう祈念する行事で福岡交通安全協会主催

一月二十六日古希報告祭

昭和二十六年四月～翌年三月生

※ 七十歳長寿の祝ひ

二月十八日天神神社祭典

※ 菅原道真公を御祭神とする神社の例祭で神社にて小学四年～六年の児童が奉書する

三月一日春祭り

※ 祈年祭（としごいのまつり）で豊作を祈願する 区長始めとする町内会長役員参加

三月二十日戦没者慰霊祭

※ 日清日露・大東亜戦争で兵士として亡くなった方の慰霊祭 遺族会主催

祖霊舎御霊祭り

※ 祖霊舎・祖霊の墓に永代供養されている方達の御霊祭り

震災鎮魂祭

※ 東日本大震災より始めた、亡くなられた方の鎮魂

■歴史探訪 天神神社

神社の末社に芭蕉天神社があります。古くからある神社であることは判つていますがいつ頃、創建されたかは定かではありません。御祭神は菅原道真公で学問の神様です。古文書（由緒記）には明治四十年四月三日に菅原道真公（芭蕉天神）創立五百年臨時祭典とあります。

このことから一四〇七年頃に創建されたと考えられ、古くは植苗木広恵寺周辺にあつたとされる天神社を今の宮地に移築したものです。このことは古文書の神社取調帳に広恵寺にあつたことが記載されています。

「寛永五戊辰年再建」とあるので一六

二九年に再建され其の後、移築されたか、移築後、再建されたと考えられます。

菅原道真（すがわらのみちざね、845～903年）は、宇多天皇に重用されて、寛平の治を支えた一人であり、醍醐朝では右大臣にまで昇りつめた。しかし謀反を計画したとして（昌泰の変）、大宰府へ大宰員外帥として左遷され現地で没した。死後怨霊と化したと考えられ、天満天神として信仰の対象となる。現在は学問の神として親しまれる。・・・ウイキペディアより

境内にある石碑には「芭蕉天神」とあります。よく松尾芭蕉と関係あるのかと尋ねられます。この地方では古くから俳句が盛んなことから、途中から天神神社から芭蕉天神社に代わつたと考えられます。事実、多数の俳句が長板に書かれ残されおり拝殿を改修した際の造営献句が残されています。※一部紹介



宵祭り 青田に映ゆる 絵行燈
玉石の 音も賑は志 祭りか南
叩かれて 幸を欣ぶ 祭りか那
殿方は 紹の羽織着て か満へけ里

二月十八日の天神神社の祭典に合せ、小学生の児童を集めて奉書を行いホットサロンに掲示いたしました。是非、閲覧ください。



平成29年奉書風景

■ 絵馬

今年から神社に絵馬と絵馬掛を設置いたしました。以前より願掛け用に絵馬がほしいと思っておりました次第です。

絵馬掛については柏原の安保栄三さん、野尻の花田住夫さんが作成し奉納してくれました。

今、拝殿に置いてあり、願掛けが出来るようにしてあります。願掛けが有る方はお賽銭を入れ備え付けの絵馬に願掛けを書いてください。願掛けが叶ったら感謝を申し上げ、絵馬を取り外し、古神札納めに絵馬を納めてください。

■ 神事奉納金の報告

還暦報告祭・・・三十万円
厄年祈願祭・・・九万円
古希報告祭・・・五万円

ありがとうございます。
神社の運営費として使用させていただきます。

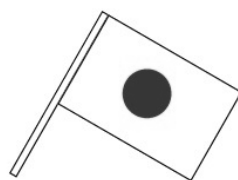
■ 建国記念の日

日本では建国の日が定かでないため古事記・日本書紀を基に建国の日を定めています。神倭伊波礼毘古命（カムヤマトイワレビコのみこと）が大和の国を平定し初代天皇（神武天皇）として即位しました。即位したのが紀元前六六〇年旧暦一月一日で其の日を建国の日としました。現在の暦であるグレゴリオ暦に換算すると二月十一日となります。昭和二十三年までは「紀元節」と定め祝日でしたがGHQが日本の国から神道の文化を排除した関係で一時期はありませんでしたが、紀元節復活が高まり昭和四十二年より「建国記念の日」として国民の祝日に戻りました。

神社界では毎年、二月十一日の建国記念の日にあわせ各都道府県にて行われる建国記念奉祝大会に参加しています。岐阜県においては約一五〇〇名程の方の参加をお願いして行われました。また、神社によっては「建国祭」の祭りが行われます。

このような活動が行われていますが、

最近では、祝日に国旗を掲げるところが少なくなりました。義務では有りませんが以前は多くの家庭で国旗を掲げ祝日を祝い「建国をしのび、国を愛する心を養う日」として定着しておりましたが、時代と共に薄れてきてしまつて残念です。国旗を掲げることは国の文化や伝統でもありません是非、祝日には忘れないで掲げてくださ



■ 天皇陛下御即位奉祝式典 奉祝提灯行列

二月二十三日岐阜市民センターにて式典並びに提灯行列が行われます。岐阜県御即位奉祝委員会主催により行われ約2.5KM距離で提灯を持って、市町村首長をはじめ各種団体、又、我々神社関係者も出席して多くの人で賑わうこととなります。※この記事は二十日に記載しています



■ 建設委員会よりお知らせ

社務所建設資金としてお願いしております奉納寄付金ですが氏子の皆様、地区外の皆様より徐々にあります。集まっております。大変ありがとうございます。しかしながら、現在、個人・法人団体での予定寄付金の50%でまだありません。建設委員・氏子総代を通じお願い申し上げます。よろしく

お願い致します。
不明点につきましては氏子総代もしくは宮司・氏子総代長までお問い合わせください。

■ 永代供養

皆さんもご存知の通り、神山神社では跡継ぎが無く、お亡くなりになられたことで家が途絶えてしまった家庭の御位牌を預かる施設として氏子会館の中に祖霊舎が御座います。また、お骨を納める場所として祖霊の墓が御座います。今後、家で御守りが困難と思われる方はいつでもお問い合わせください。

お問合せ先

神山神社

宮司 深谷 耕平

宅 0573 - 72 - 2892